

いくのぎんざんこうぎでん
43. 生野銀山孝義伝

■ 指定日

平成11年3月29日

■ 種別

有形文化財 典籍

■ 年代

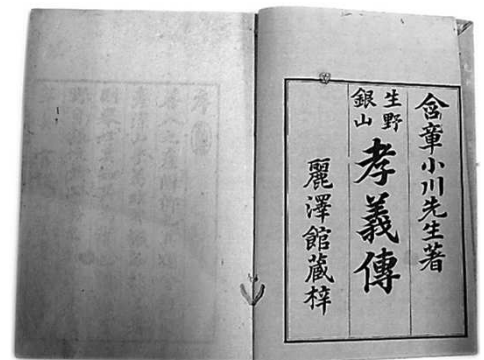
江戸時代

■ 所在地

朝来市生野町口銀谷 生野書院

■ 所有者

朝来市



■ 内容

弘化3年(1846)に、生野学問所である麗澤館司教として招へいされた小川弘蔵(含章とも)が、嘉永2年(1849)に著述した書物。前半には、21代生野代官・勝田次郎が表彰した孝子・節婦・義僕など、世の模範となる13人の言行がまとめられている。後半には生野銀山の由来や作業方法、鉱石、鉱山労働者特有の呼吸器疾患である「よろけ」などを詳しく調査した「開坑略記」が付されている。